



新しい療育器具 スパイダーシステム導入

スパイダーは、1993年にポーランドのNorman Lozinski氏によって開発されたもので、重力を軽減し姿勢制御を含む環境に適応する経験を行うことができる機器です。

スパイダーはユニバーサルフレーム（右写真：アシスト社製）に8本のゴムを取り付け、そのゴムと身体を結び付けて体重を免荷する環境をつくるので転倒するリスクがなく自発運動や抵抗運動が可能となります。



効果が期待できる症例

01

脳血管障がい児

- ・ 下肢の支持性・分離性の向上
- ・ 立位・跳躍経験
- ・ 自動運動の促進
- ・ 神経細胞群選択理論に基づく運動学習の経験
- ・ 姿勢筋緊張の軽減

02

疾病により立位保持・歩行が困難な児

- ・ 下肢の支持性向上
- ・ 立位・跳躍経験
- ・ 自動運動の促進
- ・ 全身運動による体力向上

03

発達障がい児

- ・ 前庭覚・視覚の感覚統合
- ・ 身体図式の再構築
- ・ バランス能力の改善

使用経歴

脳性麻痺児（四肢麻痺・両麻痺・片麻痺）に対する立位・バランス訓練
 遺伝子疾患等により体幹・下肢筋力低下を呈している児童に対する立位訓練

※個別療育・通園療育どちらでもご利用になれます

医療法人城戸医院
 児童発達支援センター

ぶどうの樹未来塾

所在地：〒833-0056 福岡県筑後市久富667-3

電話番号：0942-65-5336

担当：理学療法士 内田

